

CAGLIERO

カリエロ11 サレジオ会
宣教ニュース

N.117 - 2018年9月



サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信

ドン・ボスコが2018年に送り出す新しい宣教師たちは、この写真の人たちではありません……服装や肌の色、顔かたちが少し違います……しかし、同じ精神を抱いています。2018年9月30日、総長アンヘル・F・アルティメ神父は25名のサレジオ会員をアイルランド、ベルギー、ウクライナ、トルコ、イタリア、モンゴル、ラオス、チリ、メキシコ、アルゼンチン、そして南スーダンに派遣します。ガンビアの新たな拠点に脚光を浴びています。それは私たちにとって、アフリカで43か国目、世界で136か国目の拠点です。宣教師に赴く宣教師たちは：2人の修道士、6人の司祭、17人の若い実地課程生です。宣教師たちの出身地は次のとおり：アメリカ大陸から2人、ヨーロッパから3人、アフリカから8人、アジアから12人です。宣教師インドから9人が派遣されることは注目に値します。宣教師たちは皆、最終目的地に向けて出発する前に、イタリアで宣教論とサレジオ霊性の短期コースを受講します。



毎年そうであるように、サレジアン・シスターズの宣教師たちも、トリノの扶助者聖母大聖堂で行われる同じ祭儀の中で派遣されます。五大陸から来ているさらに別の25人のサレジオ会員も、この宣教派遣式に参列します。この25人は、宣教師のための3か月の生涯養成コースを受けています。キリストへの愛、教会への愛、若者とドン・ボスコへの愛が、私たち皆の心に、特に新しい宣教師の心に住まいますように。

サレジオの宣教の聖性のあかし

サレジオ会列聖申請人 ピエールイジ・カメロー二神父



尊者 **ヴィンチェンツォ・チマッティ**(1879-1965)

霊的生活の大いなる教師。チマッティ神父はある若い会員に次のように助言しました：「一つ、あなたにゆだねられた靈魂のために祈りなさい—名前を挙げて—絶え間なく。特に不満を抱いている人たちのために。……完璧な人など誰もいません…… 二つ、忍耐強く実りを待ちなさい—特に病気の人の世話において。三つ、正確な言葉は見つからないのですが、ドン・ボスコはこのようなことを言っています：『私は人生で、人を満足させるために可能なかぎりすべてのことをしたが、一度も成功しませんでした。言っておきますが、それは不可能です。』したがって、私たちは務めを果たすことによって主を喜ばせようとするのです。最後に、"laetare et bene facere 喜んでいなさい、そして善を行いなさい"……すすめたちを騒ぐにまかせなさい(内だけでなく、外でも)。」

サレジオ会員と若者のために



サレジオ会の宣教の意向

アフリカのサレジオ会が、それぞれの国で、養成と、人間として、キリスト者として、職業において、尊厳をもって成長する機会とを、若者に提供することができますように。

何百万人ものアフリカの若者が、自国に機会がないため移住を余儀なくされています。若い人口の圧倒的に多いこの大陸が、人間的、霊的な発展への道を正当に見いだすことができますように、祈ります。



Cagliero 11 (カリエロ11)の全バックナンバー：<http://salesians.jp/library/cariero>

第149回 宣教師派遣の 宣教師たち (2018年9月30日)

アジアから

- P. Papi Reddy (ING) → スーダン
- S. Dias Sheldon (INB) → ガンビア
- S. Nilesh Dodiya (INB) → ベルギー北管区
- S. Vu Duc Duy Peter (VIE) → チリ
- P. Govindu Joseph (INH) → トルコ
- S. Panmei Anthony (IND) → イタリア中央管区
- S. Godwin Kharkhongor (ING) → チュニジア
- S. Stephen Ajay Kumar (INT) → メキシコ南管区
- S. K'Chin John Touneh (VIE) → ウクライナ
- S. Harris Raymond L. (INK) → ラオス
- S. Le Quoc Bao Paul (VIE) → ラオス
- S. Ngouning John (ING) → ウクライナ

アフリカから

- S. Okoli Lawrence (AFW) → ベルギー北管区
- S. Razafimahafosa Anjaramalala Josè (MDG) → チリ
- S. Kadiata Samuel (AFC) → イタリア中央管区
- S. Kufika Benoît (ACC) → アイルランド
- L. Cristóvão António (ANG) → アイルランド
- S. Kazadi Jacques Florimond (AFC) → チュニジア
- S. Onuigbo Sixtus (AFW) → ウクライナ
- S. Musonda Ernest (ZMB) → ウクライナ

ヨーロッパから

- P. Damians i Belart A. (SMX) → モロッコ
 - L. Marcisz Sebastian (PLE) → メキシコ南管区
 - P. Vracovsky Jaroslav (CEP) → モンゴル
- アメリカ大陸から**
- P. Fernelly Suárez (COB) → アルゼンチン南管区
 - P. Víctor Tarazona (VEN) → アルゼンチン南管区

Carta di Peters

